

実は危険な冒険が好きなピーターパン

富岡 朋子

マネジメント学科1年

はじめに

世界中で人気のディズニーアニメ映画だが、ディズニー原作のアニメもあれば、原作が異なるアニメもある。ピーターパンの原作も別にあることを知り、ピーターパンのディズニーアニメと比較してみた。

1 原作

ジェームス・マシュー・バリーが書いた『小さな白い鳥』、『ピーターパンとウェンディー』が原作となった物語だ。

1.1 『小さな白い鳥』

1902年の作品。第13章の終り近くからピーターパンは登場し、続く5つの章では主役として登場しているが、第18章で姿を消し現れなくなる。この作品でピーターパンが生まれた。ディズニーアニメ映画『ピーターパン』に出て来るピーターパンより幼いころのピーターパンについて書かれている。登場人物は、ピーターパン以外の共通の者がいないが、内容は似ている。

1.2 『ピーターパンとウェンディー』

1911年の作品。童話。ディズニーアニメ映画『ピーターパン』の冒険と同じ内容が書かれている。

2 比較

2.1 主な登場人物の違い

小さな白い鳥	ピーターパンとウェンディー	ディズニー
ピーターパン 生後1週間の赤ん坊。	ピーターパン 少年。	ピーターパン 少年。
メイミー ・兄と2人兄弟。	ウェンディー ・弟が2人。3人兄弟。	ウェンディー ・弟が2人。3人兄弟。
ばあや ・黒人。	ナナ ・犬のばあや。 ・ニューファンダランド種。	ナナ ・犬のばあや。

原作では、ディズニーアニメ映画と比べ一人ひとりの名前が詳しく書かれている。ディズニーアニメ映画では、着ぐるみを着た男の子たちのことをまとめて迷い子と呼び、海賊もフック船長とスミィ以外には名前がつけられていない。人物紹介も原作の方が詳しく書かれている。ピーターパンは乳歯が生えそろっている。ティンカーベルは小さな体をしているために1つの気持ちだけしか入れないということ。そのため、意地悪な性格だけの時と良い性格の時がある。ウェンディーのお父さんのジョージ・ダーリング氏は、ディズニーでは怒っている印象が強い。しかし、原作では、彼はとても現実主義でまじめな性格ところは相変わらずだが、ナナの犬小屋で生活をしたりと、少し変わっているところがうかがえる場面もある。原作では持っていないマイケルのくまのぬいぐるみや、迷い子たちの動物の着ぐるみなど愛くるしい。フック船長の鉤爪は原作では右手だが、ディズニー作品では左手。迷い子と海賊は、ぶつかったとしても舌を出して相手を馬鹿にするくらいであり、戦うのはピーターパンがいる時だけだ。理由もアニメとは違い、ピーターパンがフック船長の腕をワニにあげてしまったからというだけでない。ピーターパンがだらだらしたことが嫌いで遊びたいからだ。遊ぶと言っても、原作のピーターパンはディズニー作品と比べてみると、残酷に書かれているところがある。迷い子たち以外の者は血を見る戦いが好きだ。ネヴァーランドに大人がいないのは、子供たちが成長し、大きくなってくると規則違反なのでピーターパンが殺してしまうからだ。

3 原作よりも広まるディズニーアニメ『ピーターパン』の魅力

アニメにすることによって、イメージが捉え易くなっている。また、アニメのピーターパンの方が血の出るようなシーンが少なく残酷なシーンがないため、子供にも見せやすい。

4 おわりに

今回『ピーターパン』の原作とディズニーアニメ映画の違いを調べるにあたって、初めて原作を読み、今まで知らなかったピーターパンの顔を見ることができた。

参考文献

- ジェイムズ・M・バリ [著] 鈴木重敏 [訳] (2003) 『小さな白い鳥』 パロル舎
ジェイムズ・M・バリ [著] 石井桃子 [訳] (2003) 『ピーター・パンとウェンディー』 福音館書店
ハミルトン・ラスク [監督] 『ピーターパン』 DVD ウォルト・ディズニー

別表 ストーリーの違いの詳細

小さな白い鳥	ピーターパンとウェンディー	ディズニー	
<p>・ピーターパンは生後1週間で窓から飛んでお母さんの元から離れて、ケンジントン公園にくる。</p> <p>・お母さんのところへ帰ろうと試行錯誤する。</p> <p>・ツグミの巣によりピーターパンは公園内を自由に移動できるようになる。</p> <p>・ケンジントン公園の閉園の時間になっても残っていたメイミー妖精と出会う。</p> <p>・メイミーは疲れて公園で寝てしまう。</p> <p>・妖精たちはメイミーに小さな家を建ててやり、寒さから守ってやる。</p> <p>・目を覚ますとピーターパンがいる。</p> <p>・メイミーはピーターパンにキスしてあげると言ったがピーターパンはキスの意味がわからない。そこでメイミーはキスの代わりに指抜きをあげる。</p> <p>・メイミーは家に帰る。</p> <p>・メイミーはお母さんの提案で自分の山羊の人形をピーターパンにあげることにする。</p> <p>・手紙と山羊の人形をケンジントン公園の適当なところにおいてくる。</p>	<p>・ダーリング家の日常。</p> <p>・家計のこと。</p> <p>・ナナとの出会い。</p> <p>・ウェンディーたち3人が生まれるまでの話。</p>		
	<p>・お母さんとナナがピーターパンに出会う</p> <p>・ナナがピーターパンを追いかけて影を捕まえる。</p>		
	<p>・パーティーへの支度</p>		
	<p>・ピーターパンがティンカーベルと一緒に影を取りに戻ってくる。</p> <p>・ウェンディーが影をピーターパンの足に縫い付けてあげる。</p>		
	<p>・ウェンディーはピーターパンにキスしてあげると言ったがピーターパンはキスの意味がわからない。そこでウェンディーはキスの代わりに指抜きをあげる。お返しにピーターパンはドングリのボタンをあげる。それをウェンディーはくさりをつけて首にかける。</p> <p>・ウェンディーがジョンとマイケルを起こす。</p>	<p>・ウェンディーがピーターパンにキスをしようとするがティンカーベルに阻止される。</p> <p>・ジョンとマイケルがピーターパンに気づく。</p>	
	<p>・一緒にネヴァーランドに行くことを決める。</p>		
	<p>騒ぎに気付いたナナがダーリング夫妻呼びに行く。</p>		
	<p>出発</p>		
	<p>ナナとダーリング夫妻が飛んでいくところを目撃する。</p>	<p>ナナだけが飛んで行くところを目撃する。</p>	
	<p>・2つ目の海を越えて3晩目。</p> <p>・食事は飛びながら鳥から食べ物を奪う。</p> <p>・飛びながら寝る</p>	<p>・一晩でネヴァーランドに到着。</p>	
	<p>・海賊に大砲で狙われる。</p>		
	<p>海賊がピーターパンの家を見つける</p>		
	<p>・飛んでいるウェンディーがティンカーベルの命令により迷い子に狙われる。</p>		
	<p>・胸に矢が刺さる。</p> <p>・ピーターに貰ったドングリのボタンに刺さっていたおかげで助かる。</p>	<p>・ピーターパンが攻撃から避けてバランスを崩したウェンディーを助ける。</p>	
	<p>・ウェンディーに家を建ててあげる。</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・両親とナナのことを忘れないようにテストをする。 ・海賊が毒入りケーキで何度も子供たちを殺そうとするがウエンディーが阻止する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで人魚の島へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーターパンとウエンディーは人魚の島へ、そのほかの子供たちはインディアンを捕まえに行くがインディアンに捕まえられてしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ピーターパンが海賊に捕まられていたタイガー・リリを助ける。 	
<ul style="list-style-type: none"> 助けた時のケガのため一時飛べなくなる。 ネヴァー島の巣のおかげで帰れる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ピーターパンはインディアンに認められる。 ・子供たちは両親の待つ家に帰ることを決める。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ティンカーベルが海賊に捕まり、ピーターパンの家を教える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ピーターパンに別れをいい、外に出たところ海賊に捕まり船に連れていかれる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・一人残されたピーターパンが寝てしまう。 ・そこへ、フック船長が来ピーターパンのお薬に毒を混ぜて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海賊はピーター宛のプレゼントと見せかけた時限爆弾をピーターパンの家に置いてくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ティンカーベルがピーターパンを助ける。 ・ピーターパンは急いで子供たちを助けに行き、海賊に勝つ。 ・海賊はスミーと他4人は助かる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・フック船長はワニに食べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フック船長はワニに追いかけて消える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ピーターパンとティンカーベルが先回りし、ウエンディー達に帰ることを諦めさせようとして家の窓を閉める。 ・ウエンディーのお母さんが子供たちの帰りを待って泣いているのを目撃し、窓を開ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空飛ぶ船で帰る。
<ul style="list-style-type: none"> ・両親の待つ家へ帰宅。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・迷い子たちも一緒にダーリング家に住む。 ・毎年春の大掃除の時だけウエンディーはお手伝いのためにネヴァーランドに行く。 ・子供たちの未来。 	